● 宮脇 太一

●朝田 圭彦

● 伊藤 真珠

● 井上 奈緒

ブ資料の活用

● 近藤 日和

ラ遺跡の行方-

●佐藤 菜々子

みる制作原理

マンガを編む描線

マンガ展示の現状と可能性

- 原画を取り扱う展示を事例に-

変幻自在な表現規制と講じるべき

2010 年代のブラックムービーに見る

アメリカ社会の現状と変化

● 須藤 佑

● 鈴川 唯

● 土屋 徹

対応策

● 中嶋 陸大

● 成田 文香

坂元裕二の脚本論

見る手工芸の価値

世界遺産としての復興

507

実生活とアートの関係性

黒沢清が描く崩壊する世界

日本美術史における犬画の変遷と展望

ミュージアムにおけるマンガアーカイ

アーツ・アンド・クラフツ運動から

-国際条約の下で左右されるパルミ

サイ・トゥオンブリーの絵画作品に

● クォンドヒョ 杉浦ゼミ

楫ゼミ

高島ゼミ

是枝ゼミ

春原ゼミ

高島ゼミ

高島ゼミ

高島ゼミ

春原ゼミ

高島ゼミ

高島ゼミ

高島ゼミ

- イ ジョンヨプ 楫ゼミ 服飾における黒
- 岩本 修平 米徳ガミ くつとこうべ - 絵本で表現する神戸市の靴文化-
- 内田 咲希 米徳ゼミ だれかの灯台 - 交換日記を通してコ ミュニケーションについて再考する一
- 榎本 昌芳 是枝ゼミ 創作折紙の追求
- 増田 夏妃 米徳ガミ Unconscious Love -なつかしさの映像表現方法-
- 松井 秀親 是枝ゼミ 20××年

● 佐藤 舞琳 楫ゼミ 体感する文学 〜海神別荘より〜

● 武藤 亜嵐 楫ゼミ 都市の極相

● 寺本 格 春原ゼミ まうとびあプロジェクト -武蔵野 美術大学における美術教育を用いた 不登校児童生徒との共同活動計画-

- 高橋 優芽 杉浦ゼミ 10 代へのサードプレイスのすすめ
- ●田中 日菜子 米徳ゼミ 読「書」のかたち
- 西尾 なを 米徳ゼミ やきもの探訪 - もの・人・産地に出会う-

- 橋本 利起男 高島ゼミ 創作と超常現象について
- 東本 なぎさ 高島ゼミ スーパーマンの死からみるアメリカ社会
- ●平賀 匠 春原ゼミ ぴちょんくんから紐解くキャラクタービジ ネス - 今の社会だからこそ必要とされ るキャラクターー
- ●松原 輝 春原ゼミ Vtuberから見るインターネットコンテンツ と「人格」を演じることについての一考察 - 「エンタメ」を分類することの意義
- 室山 栞菜 高島ゼミ 李禹煥の言論活動からみる作家性
- 高島ゼミ ● 吉田 理子 「女の子写真」の批評におけるジェン ダー問題

508

- 稲垣 素子 是枝ゼミ 大正アヴァンギャルドにおける社会と芸 術の関係
- 大浦 美咲 春原ゼミ 建築家と学芸員の相互作用によって生ま れる美術館建築また展示空間の重要性
- 加納 向日葵 院生 美術館における日本美術を対象とした鑑 賞教育の可能性 - 美術館と小学校の地域連携による-
- 黒田 まりあ _{棍ゼミ} コミュニケーションゲームの歴史と変化 ~あつまれどうぶつの森から考える日常 シュミレーションの新たな可能性~
- コウ ベイラン 院生 中国における非都市型アートプロジェクト のあり方について -日本と中国の事例 から見たー
- 柴田 康佑 春原ゼミ 見えないものは「見る」に何をもたらす のか
- シュチョウグン 院生 作品と人(鑑賞者)の関係の変化 - 中国におけるインスタレーション作品 鑑賞の分析-

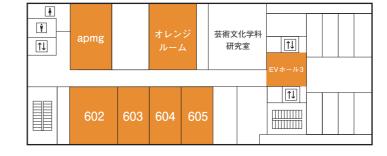
- チンケイブン 楫ゼミ 美術館による現代美術の叙述 - 現代アート・現代美術館・現代社会 -
- 寺尾 紗里奈 楫ゼミ 近年の化粧品業界を取り巻く変化から見 る新たな企業戦略
- 西山 さくら _{楫ゼミ} ファッションショー ~パリ・コレクション から紐解く華麗なる祭典の魅力~
- 宮澤 国太郎 楫ゼミ 映像表現と擬似体験型の演出の親和 性について

● 齊藤 優理 杉浦ゼミ ディスレクシアの視界と心情の可視化

- 赤木 音 楫ゼミ うつわのオンラインセレクトショップの企画
- ●河村 菜帆 米徳ゼミ watashi の hanashi
- 栗原 隼汰 米徳ゼミ 面接は森の奥で - 現実とファンタジー の同時通訳的表現 -
- ●トウ ビ 米徳ゼミ インフォデミック
- ●疋田 樹 楫ゼミ ブルース・ウェーバーから学ぶ美意識と思 考表現
- 皆月 優良 杉浦ゼミ 幼児期の「表現」領域におけるワークショッ プの提案
- 宮田 桃歌 楫ゼミ カフェのトータルプロデュース ~地域 の文化性を体感する場のデザイン~

● 乙重 杏歌 杉浦ゼミ 結婚についてのナラティブ

● 樋口 詩乃 楫ゼミ NIPPON RE:DESIGN KYODO GANGU



apmg

- ●淺川 寧々 是枝ゼミ 無意識と思考
- ●淺木 万由佳 是枝ゼミ 色彩の共鳴
- 浅見 夏音 是枝ゼミ ナビ派における色彩の響き合い
- 伊藤 まゆ 是枝ゼミ 蝶々
- 眞田 遼佳 是枝ゼミ 詩画集ルミナス・グレイの城

- ●田中 さくら 春原ゼミ fog lamp letter ~高校生の進路の選 択肢を増やすメールレター~
- 中川 晴花 春原ゼミ 民族伝統菓子における装飾はどのような 文化、精神性に反映されているか - 視覚的アプローチ・冊子表現-

602

- ●安藤 佳納 楫ゼミ 高校生のための服飾雑貨セレクトショッ プの創造
- ●カクイクビョウ 杉浦ゼミ who was i? (私は誰だった?)
- ●佐々木 和奏 楫ゼミ With コロナにおけるオンラインコミュニ ティの必要性
- 髙橋 留香 楫ゼミ 写本のきほん - 中世ヨーロッパ彩飾写本を中心に-

● 土井 一生 楫ゼミ 次世代通信による情報伝達の変化から 見る10年後のアニメ文化の魅力

- 一木 麻由 杉浦ゼミ 幼保連携型認定こども園でのアート教 育について
- 引地 太郎 楫ゼミ 空間の保存

604

●基 翠月 春原ゼミ クリアー空間と文学ー

- 濱中 春 米徳ゼミ 「引っ越し」を通して蘇る記憶や変化 の記録
- 松田 実希 楫ゼミ 公立高校におけるブランディングのあり方 - 高校生に向けたブランディングワーク ショップー

●引地 彩紗 楫ゼミ Aの可能性

号館 2号館 号館 正門

号館

地下通路(た

美術館前芝生 その他

人間との遭遇

学内全体図

5A号館

4号館

美術館

美術館前 芝生

9号館 8号館側外側ベンチ

●小山内 あみ 是枝ゼミ カオリノバー

9号館 1階ゼロスペース

- 古家 那南 楫ゼミ 社会問題へのアートの介入の可能性
- 堀井 百香 是枝ゼミ 絵画へ込められた画家の精神の継承・ 保存の方法

12号館 地下ホワイエ

●鈴木 花佳 春原ゼミ あそ弁ーアソビの弁当箱ー

12号館 地下展示室

●若尾 一輝 山谷(やま)へゆく

論文

既存の論考の整理ではなく、テーマ の客観的分析と批評的研究を行い、 独自の展望と具体的な解決策を 30,000字から40,000字で提案する ことが求められます。

● 作品表現

現代のアート、デザインと文化の状況 の考察を踏まえたテーマを設定し、適 切な表現方法を選択し、作品として仕 上げることが求められます。8,000字以 上の研究レポートも必要です。

プランニング

現代社会におけるさまざまな問題に対 し、具体的な解決策を示すためのプラ ン(計画)を、12,000字以上の企画書 と適切なメディアを使用することによっ て提示することが求められます。

イベント 芸文卒展ツアー

開催日 2021年3月12日(金)-3月14日(日)

時 間 11:00-11:50 | 14:00-14:50 各日2回

場 所 9号館5・6階ほか

定 員 各回5名(事前予約制) *オンライン参加は定員なし

- *参加費無料 *途中退場可
- *各回5分前に9号館6階 apmg 前にお集まりください。

対面とオンライン 2つの参加方法

今年度は対面でのツアーに加え、オンライン配信も実施します。対面での参加を希望する方は下のQRコードを読み取っていただき、専用の予約フォームからご予約をお願いいたします。

オンラインプログラムの参加方法について

各回Zoomにてオンライン配信を実施します。SNS(Facebook、Twitter)にてZoomのリンクを配信します。どなたでもご自宅で気軽に参加できますので、ぜひ芸文の学びを体感してください。

●まるっとたくさん コース

作者6名からお話を伺いながら、研究成果を大まかに鑑賞します。

日時 2021年3月12日(金)11:00-11:50/14日(日)14:00-14:50

●のんびりじっくり コース

作者3名からお話を伺いながら、研究成果をじっくりと鑑賞します。

日時 2021年3月12日(金)14:00-14:50/13日(日)11:00-11:50

●いっしょにはなそう コース

来場者と卒展裏方スタッフが自由に感想を話し合います。

日時 2021年3月13日(土)11:00-11:50/14日(日)11:00-11:50





対面で参加する方の ご予約はこちら



武蔵野美術大学 芸術文化学科

Musashino Art University Department of Arts Policy and Management

来場者アンケートご協力のお願い

右のQRコードから、本展のアンケートに回答していただけます。今後の参考のため、ぜひご協力ください。



芸術文化学科について



芸術文化学科は、社会を支える基盤としてますます重要になっていくアートとデザインと、それらを生み出す文化を、理論と実技の両輪から多角的に研究しています。芸文では、アート、デザインと社会を接続するための、未開拓な視点の想像と実行力の獲得を目指し、専門性に長けた教員が、理論と表現のバランスの取れたカリキュラムを4年間を通して提供します。

芸術文化学科は、調査研究、企画立案、教育、評論、制作、マネジメントなど、これからの社会において欠くことことのできない分野で十分に活躍する人材を輩出します。

卒業研究・制作展(卒展)について

「社会と芸術文化をつなぐ」人材を育てる芸術文化学科の4年生77名、大学院2年生3名が、ミュゼオロジー、マネジメント、プランニングという芸文の三つの柱の下に、理論と表現を学んだ成果を発表する展覧会です。「論文」「プランニング」「作品表現」から一つを選び、冊子、パネル、絵画、映像など様々な媒体で展開します。

メインビジュアル



今回のメインビジュアルは、学んだことが 枠を超えて溢れ出すイメージで制作しま した。芸文のテーマカラーであるオレンジ を中心に、グラデーションで芸文の幅広 い学びや「社会と芸術をつなぐ」という芸 文の特色を表現しています。展示を通し て、わたしたち芸文生の多彩な学びを体 感していただければうれしいです。

芸術文化学科4年 内田 咲希

映像コンテンツ

■卒展裏側ドキュメンタリー 「卒展 2020」

卒展が作り上げられるまでのドキュメンタリー映像です。

■優秀賞 受賞者インタビュー 近日公開予定

優秀賞を授与された出展者とその研究成果を取り上げたインタビュー映像です。

卒展裏方プロジェクト 2020 特設 Web サイトにてご覧いただけます。



SNS



Instagram

卒展の「主役」をお届けします。3月11日(木)、卒展開始と同時に、研究成果を公開。新しい出会いの場としてぜひご活用ください。



Facebook

卒展の「情熱」をお届けします。卒展に関する情報を集約。卒展のまとめサイトとしてもご覧いただけます。



Twitter

卒展の「今」をお届けします。展覧会準備や会場の様子、イベント情報を随時発信します。

卒展裏方プロジェクト 2020

1・2・3年生から構成された「卒展裏方プロジェクト2020」のメンバーが 学科全体で運営している卒展を裏方としてサポートしています。

広報·教育普及班 石崎 美智 井富 有音 鈴木 藍 梨本 奈那

制作・記録班 オウキン 長谷川 華蓮

監修 杉浦 幸子 米徳 信一 浅沼 恵美

DEGREE SHOW 2020

Department of Arts Policy and Management



2020年度 武蔵野美術大学 芸術文化学科 卒業研究・制作展 大学院 芸術文化政策コース 修了展

2021年3月11日 ♣ — 3月14日 圓 9:00-17:00 鷹の台キャンパス 9号館5·6階 その他